

TECHNICAL DATA

塗装仕様	速硬軽量モルタル
製品名	キクスイ RLモルタル

下塗材：初期補修用プレミックスポリマーセメントペースト
「キクスイ メンテペースト」

第4版 作成日：2024年 11月 25日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

塗装仕様：速硬軽量モルタル

製品名：キクスイ RLモルタル

適用範囲：モルタル欠損部の修繕工事に適用する。

1. 工程表

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	所要量
下塗り	キクスイ メンテペースト 主 材：10kg 混和液：5kg	はけ	1	適宜 混練比重：約1.7kg/L 練り上り容量：約9L
欠損部 充填	キクスイ RLモルタル 主 材：14kg 混和液：1.4kg 清 水：1.8~2.5L	コテ等	1 以上	適宜 混練比重：約1.6kg/L 練り上り容量：約11L

練り混ぜ後の可使用時間(キクスイ メンテペースト) : 1時間以内(20℃)

練り混ぜ後の可使用時間(キクスイ RLモルタル) : 1時間以内(20℃)

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、
施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。

2. 材料荷姿

キクスイ メンテペースト 15kg \times 10/プラペール入り 主 材 NET：10kg/ポリ袋

混和液 NET：5kg/ビニール袋

キクスイ RLモルタル 15.4kg \times 10/プラペール入 主 材 NET：14kg/ポリ袋

混和液 NET：1.4kg/ビニール袋

3. 施工要領

3-1. 下地処理

- 欠損部及び欠損部周辺のもルタル等の浮き部分は、ハンマー等で軽い打撃を与え除去する。
ただし、もルタル等が直接落下する危険性のある部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部分と整形で縁を切り、損傷が拡大しないようはつり撤去する。
- 鉄筋及びアンカー金物等が露出している場合は、周囲のコンクリート等をはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去する。
- 補修面の汚れ及び付着物は、ブラシ、研磨紙、布及び水洗い等により除去する。

3-1. 材料の混ぜ合わせ

- 製品は空練りを行った後、練り混ぜを行ってください。
- 製品はミキサーでダマが残らないように十分に練り混ぜてください。
- 練り水及び希釈水は必ず清水を使用してください。
- 練り混ぜ後、可使時間以内に使い切ってください。また、可使時間は温度、希釈によって変わりますので、練り混ぜ後はなるべく早く使い切ってください。
- 可使時間の過ぎた材料を、練り直して再度使用しないでください。
- 練り足し、水を加えての練り戻しはしないでください。
- 既調合タイプの製品に現場で、セメント、砂等の指定材料以外を加えないでください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。

3-2. 施工

キクスイ メンテペースト

- 下地が極度に乾燥している場合は、適度の水湿しを行ってください。
- 速硬軽量もルタルを充填する場合は、0.5時間以内に行ってください。

キクスイ RLもルタル

- 不陸が大きい時は、はじめ刷り込むようにして不陸調整を行い、最後に均一な厚さに塗付けてください。
- 1回の塗り厚は30mm以下です。欠損部が深く1回で修復できない場合は、しまり加減をみながら2回から3回に分けて施工してください。
- 欠損が大きくだれ下がり等のおそれがある場合は、部位及び欠損の形状を勘案のうえ、ステンレスピンや溶接金物等を併用するものとし、詳細は監督員と協議する。
- 施工後の養生時間は18時間以上とってください。

成分表

初期補修用プレミックスポリマーセメントペースト

: キクスイメンテペースト

内	容	重量 (%)
無機質結合材		44.2
骨材		54.1
添加剤		1.7
計		100.0

: キクスイメンテペースト 混和液

内	容	重量 (%)
アクリル樹脂エマルジョン		39.9
水		56.8
添加剤 (防錆剤 等)		3.3
計		100.0

速硬軽量モルタル : キクスイ RLモルタル

内	容	重量 (%)
無機質結合材		42.8
骨材		56.7
添加剤 (繊維等)		0.5
計		100.0

: キクスイ RLモルタル 混和液

内	容	重量 (%)
カチオン系アクリル樹脂エマルジョン		100.0
計		100.0

性能試験成績書

塗装仕様	速硬軽量モルタル				
製品名	キクスイ RLモルタル				
供試材料	キクスイ RLモルタル				
供試材料の種類・調合	合成樹脂の種類	混和液固形分 濃度(%)	調合(重量比)		
	アクリル系重合体	45	粉体	混和液	水
	100 10 16				
供試混和液固形分濃度計算値(%) : 4.5					
試験方法	UR都市機構 保全工事共通仕様書 機材及び工法の品質判定基準仕様登録集 速硬軽量モルタルの試験方法				
試験項目					結果
単位容積質量(kg/l)	1.8以下				1.7
凝結時間(分)	300以内				300
長さ変化率(%)	0.15以下				0.00
接着強さ(N/mm ²)	材令 18時間 0.3以上				0.6
	材令 7日間 1.0以上				1.3
曲げ強さ(N/mm ²)	材令 18時間 1.0以上				3.9
	材令 7日間 3.9以上				7.1
	材令 28日間 4.9以上				8.8
圧縮強さ(N/mm ²)	材令 18時間 4.9以上				15.5
	材令 7日間 14.7以上				24.7
	材令 28日間 19.6以上				34.7
吸水率(%)	15以下				10
耐久性(接着強さ) (N/mm ²)	温冷繰返 10サイクル後 1.0以上				1.3

塗装仕様		初期補修用プレミックスポリマーセメントペースト			
製品名		キクスイ メンテペースト			
供試材料		キクスイ メンテペースト			
供試材料の種類・調合		合成樹脂の種類	混和液固形分濃度 (%)		
		アクリル系重合体	22±2	100	50
		供試混和液固形分濃度計算値 (%) : 11			
試験方法		UR都市機構 保全工事共通仕様書 機材及び工法の品質判定基準仕様登録集 初期補修用プレミックスポリマーセメントペーストの試験方法			
試験項目			結果		
ひび割れ		浮き・ひび割れのないこと		浮き・ひび割れがない	
防食性	120時間	さびが発生しないこと		さびの発生がない	
付着強さ (N/mm ²)	標準時	0.60以上		モルタル板	1.97
				鉄板	1.27
	温冷繰返し 10サイクル 後	0.60以上		モルタル板	2.49

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。